

利用者の声（令和5年度）



建築施工技術科 （企業実習付き）

ポリテクセンターを受講する事になったきっかけ

- 長期の海外生活から帰国後、ハローワークで相談したところ、ポリテクセンターで学び、資格等を取得すれば再就職にプラスになるかもしれないと思い受講を決めました。
- 建築の仕事に興味がありましたが、建築業界と言っても分野が幅広いので、まずは基本をポリテクセンターで学んでみてから進路を決めようと思い受講を決めました。
- 建築関係の仕事を探しているときに未経験者だと就職しにくいことがわかり、知識や技術を習得するために受講することにしました。
- 新たに建築分野に進もうと思った際に未経験分野なので、どこかで建築に関する勉強がしたいと思い受講することにしました。
- 前職を退職することになり、以前から気になっていた建築業界の中で特にリフォーム職人になりたいと、技術・知識を習得したいと思い受講することにしました。
- 企業実習で建築現場を経験し、建築の基本を学びたい、設計も知りたいという気持ちから受講を決めました。
- 数年後、実家が営む自営業と一緒に手伝いたいと考えており、知識や経験を得るために受講しました。

訓練を通じて感じたこと

<施設内訓練>

- 学生時代に建築を学びましたが久しぶりの座学や初めてのクレーン、玉掛けの訓練など不安がありました。しかし、指導員の先生方が丁寧に指導や協力をしてくれたので、不安なく訓練を受けることができました。感謝しています。
- 建築未経験でも6カ月の間に凝縮された内容の学習ができたと思います。個人的には学びの大切さ、これからの仕事に対する姿勢、意気込みなどを改めて感じさせてくれる良い機会になったと思います。
- 建築施工技術科では、建築の基礎から実際の施工までを通して奥深い専門性を学びました。建築は分業化されており、どの分野もしっかりとした知識・技術の理解が必要なことを実感しました。
- 専門用語が多く慣れるまで時間がかかりましたが、先生方が理解できるまで、とことん教えてくれたので良かったです。
- 座学、実習のカリキュラムは、仕事に直結する内容で、楽しく充実した学びがありました。

- 広く浅く基本的なことを習ったことにより、今まで疑問に思っていたことが解消され、建築のことがある程度の理解できました。
- 建築系の仕事をやるうえで、建築士や施工管理技士になるための知識は絶対あったほうが良いと思う。そのための基本を学ぶ場として、とても良い環境でした。
- 実習に関して、全く経験のないことだったので不安でしたが、クラスの人と協力して建物を造ったり、先生が分かりやすく指導してくれたりしたので、楽しく学べました。

<企業実習>

- 実際に企業実習を体験することで、その業務についてイメージしやすく、不安要素もある程度解消されました。また、実習中や実習後にクラスの人たちと情報交換ができたので有意義に感じました。
- リフォームの現場では、イレギュラーなことが多いことがわかり、豊富な知識や技術がないと判断に困ることを知りました。
- 実際の現場で作業に参加させてもらえる、とても貴重な時間だと思いました。素晴らしい職人技を見せてもらって、大工にしても設計にしても努力と経験が大切であると実感しました。
- 施設内での実習ではわからない現場のキツさや職人の動作を実際に見ることができてよかったです。

今後の就職について

- 何件かの指名求人の中から企業実習先を選び、そのまま就職内定をいただきました。今後は資格取得を目指し、キャリアアップ、収入増につなげていきたいと思います。
- ポリテクセンターを通じて、スムーズかつ希望に近い職種に就職できました。
- 団地の修繕や敷地内の様々な工事に携わる会社に就職します。土木部門や水道設備部門もあり、幅広い工事に携わっていくことになりそうです。
- 希望職種である建築施工管理職へ就職が決まりました。
- 企業実習先にそのまま就職を決めました。



指導員からのコメント

『建物を造る』、そんな仕事に就きたい方へ!

建築施工技術科（企業実習付き）では、実際に建物を施工し、鉄筋コンクリート造やコンクリートブロック造、木造の建物の造り方を学びます。また、建築現場で必要な足場の組立てや小型移動式クレーンの運転、玉掛けの資格取得をカリキュラムに組み込んでいます。

訓練終盤には、企業実習で実務を体験します。企業とのマッチングが上手くいけば、そのまま企業実習先に就職することもできます。

建物を造る仕事をしたい方、建築施工技術科で技能と技術を磨いてみませんか。